



五泉市と新潟大学農学部との連携・協力に関する協定

1 主旨

昭和 24 年、旧村松町にあった新潟県農林専門学校（現・村松ステーション）を母体として新潟大学農学部が設立されて以来、保育園児の牧場見学、愛宕中学校の農場実習、市民向けの農場一般開放などを通じて五泉市民と農学部は交流を深めてきました。

新潟大学農学部は五泉市と「五泉市産学官連携検討委員会」を立ち上げ、まちづくりに関する協議を行っており、また、五泉ニット工業協同組合青年部や市内民間事業者の間では、イベント開催や商品開発など、産学官における地域連携も行われています。

今日まで培われた連携を更に加速させ、相互の発展に資することを目的として、当協定を締結するものです。

2 協定の必要性

現在、自治体が抱える行政課題は複雑化・多様化しており、安全・安心で活力ある地域づくりを進めていくための解決策の一つが、大学が持つリソース（知的・人的・物的資源）を活用することとされています。

一方、自治体への提案や協働を行うことにより、大学が目指す『成果を広く社会に提供することにより社会の発展に寄与する』ことを理念とした地域貢献や、フィールド確保による学術研究機能の向上と人材の育成の実現が期待されます。

3 協定の内容

現在 実施されている連携活動を加速させるとともに、連携協議会で具体的な活動について協議しながら、地域産業の振興・地域資源の活用・まちづくり・人材育成・教育及び学術研究・環境保全など、多岐にわたる分野について連携・協力を図っていきます。

4 将来の展開

この連携協定に基づく活動を進めながら、将来的には五泉市と新潟大学全体との連携も念頭に置き、展開を図っていきます。